

## 富士テクノソリューションズ(2336)

2019/3 通期はソフトウェアの減損を乗り越え大幅増益、3D-CAD 技術者確保に努める方針

TOKYO PRO Market | IT サービス | 業績フォロー

BLOOMBERG 2336 JP | REUTERS 2336.T

- 2019/3通期は、売上高が前期比10.8%増の18.99億円、営業利益が同60.4%増の4,355万円、経常利益が2,730万円、当期利益が1,670万円とそれぞれ前期の26万円、106万円から大幅に伸びた。
- 技術開発や製品設計に対応可能な高いスキルをもつ技術者の要請も引き続き堅調に推移。自社開発販売用ソフトウェアについて減損損失を計上するも、乗り越え大幅増益となった。
- 2020/3通期会社計画は、売上高が同9.5%増の20.80億円、営業利益が同14.8%増の5,000万円、経常利益が同28.2%増の3,500万円、当期利益が同37.7%増の2,300万円。3D-CAD技術者確保に努める方針。

## What is the news?

2019/3通期は、売上高が前期比10.8%増の18.99億円、営業利益が同60.4%増の4,355万円、経常利益が2,730万円、当期利益が1,670万円とそれぞれ前期の26万円、106万円から大幅に伸びた。主要取引先である製造業で開発投資が継続したため、技術開発や製品設計に対応可能な高いスキルをもつ技術者への要請が堅調だった。事業別の売上高は、情報処理請負事業が同12.1%増の8.17億円、技術者派遣請負事業が同11.5%増の9.87億円、プロダクト販売事業が同5.3%減の9,400万円。自社開発販売用ソフトウェアについて販売子会社の赤字が続いていることから減損損失1,989万円を計上したものの、乗り越え大幅増益。自己資本比率は2.1%と前期の0.7%から改善したが依然として低水準。連結子会社のエフティ・ファインテックプロダクトが設立以来赤字続きで、債務超過となっていることが背景。累積損失は6,617万円と期初の7,803万円から縮小した。

グループ企業の2019/3通期業績は以下の通り。①富士テクノソリューションズ(単体)は、売上高が前期比7.7%増の16.18億円、当期利益が同2.4倍の1,442万円。②3DプリンタおよびCAD関連のソフトの販売を行う連結子会社エフティ・ファインテックプロダクトは、売上高が同42.9%減の2,950万円、当期利益が▲1,008万円と前期の▲804万円から赤字幅拡大。③IT系企業への派遣を強みに技術者派遣事業を行う連結子会社の横芝は、売上高が同54.0%増の2.51億円、当期利益が同2.7倍の855万円。

## How do we view this?

2020/3通期会社計画は、売上高が同9.5%増の20.80億円、営業利益が同14.8%増の5,000万円、経常利益が同28.2%増の3,500万円、当期利益が同37.7%増の2,300万円。難易度が高い設計業務や付加価値の高い請負業務の比重を拡大する方針だ。そのため、高度な業務に対応できる高い技術力を持った3D-CAD技術者を養成する必要がある、新卒社員の採用や社員育成による技術力向上、技術者の中途採用などを継続的に行っていく。

## 業績推移

事業年度	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3F
売上高(千円)	1,629,319	1,715,082	1,899,881	2,080,000
経常利益(千円)	20,154	263	27,303	35,000
当期利益(千円)	19,395	1,066	16,701	23,000
EPS(円)	24.02	1.32	20.68	28.48
PER(倍)	20.61	375.00	23.94	17.38
BPS(円)	12.12	7.44	22.12	-
PBR(倍)	40.84	66.53	22.38	-
配当(円)	6	6	6	-
配当利回り(%)	1.21	1.21	1.21	-

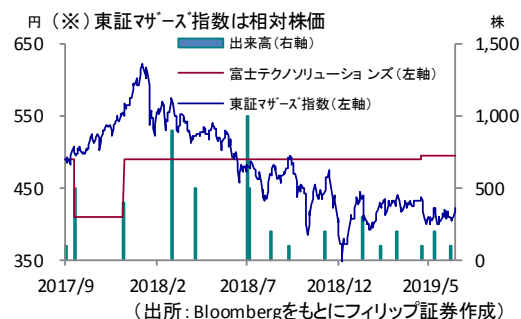
(※)2017/6/30付で普通株式1株につき100株の株式分割を実施したが、2017/3期の期首に当該株式分割が行われたと仮定してEPS、BPS、1株あたり配当を算定している。(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

配当予想(円) - (会社予想)  
 株価(円) 495 2019/7/2(基準値)

## 会社概要

1976年に資本金200万円で同社の前身である有限会社「富士商会」を設立、PC関連商品の販売などを目的に創業。富士テクノソリューションズを主軸に、エフティ・ファインテックプロダクトおよび横芝の連結子会社2社でグループを構成している。製造業のものづくり開発の支援ビジネスを、本社のある神奈川県厚木市を主たる商圏とし、大阪市・愛知県の1府2県で展開。各メーカーからの依頼により技術提供を行う情報処理請負事業、技術者を各顧客企業に派遣する技術者派遣事業、CAD関連のソフトの販売、環境構築・運用コンサルティングを行うプロダクト販売事業を行っている。横芝では技術者派遣事業、エフティ・ファインプロダクトでは3Dプリンタの販売およびCAD関連のソフトの販売を行うプロダクト販売事業を行っている。同社は2004年にISO9001認証を取得し、2006年に技術本部がISO/IEC27001:2005認証を取得。2013/7から本社及びサポートソリューションセンター、厚木テクニカルセンターを厚木市に移転。名古屋と大阪に事務所を設置している。2002/10に日本証券業協会よりグリーンシート銘柄としての指定を受け、株式を公開。2017/3グリーンシート銘柄としての指定を取消し。2017/9/19にTOKYO PRO Marketに上場した。

## 企業データ



主要株主(2019/3/31) (%)  
 1.高井 男 50.16  
 2.原田 久仁子 12.64  
 3.高井 澄子 5.75  
 (出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

## アナリスト

増淵 透吾  
 togo.masubuchi@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 0707  
 笹木和弘  
 kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則(平14.1.25)」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当J-Adviserに就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っております。